

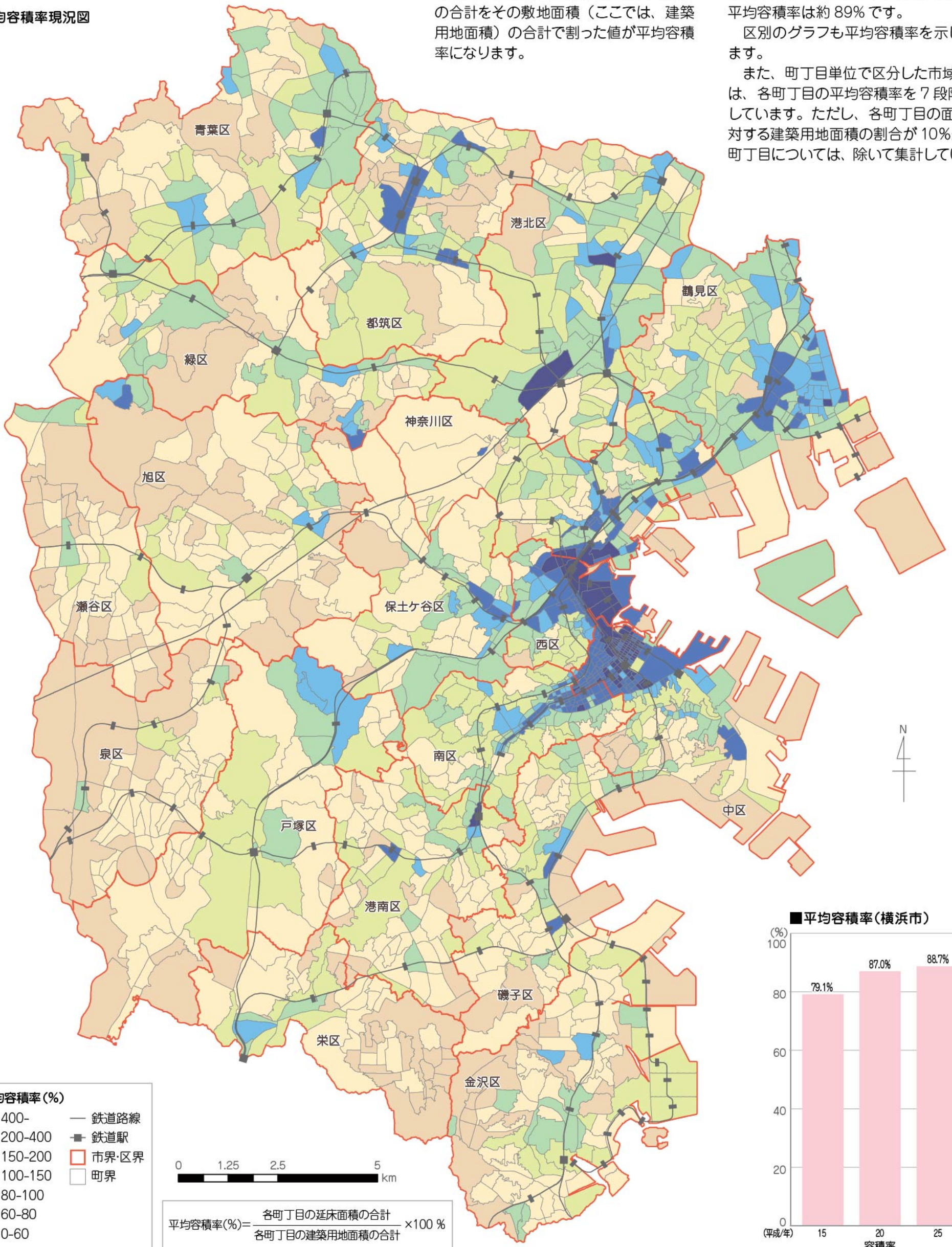
容積率は延床面積の敷地面積に対する割合のことです。全ての建物の延床面積の合計をその敷地面積（ここでは、建築用地面積）の合計で割った値が平均容積率になります。

平均容積率が高いと、土地が高度利用されていることを示しています。横浜市の平均容積率は約 89% です。

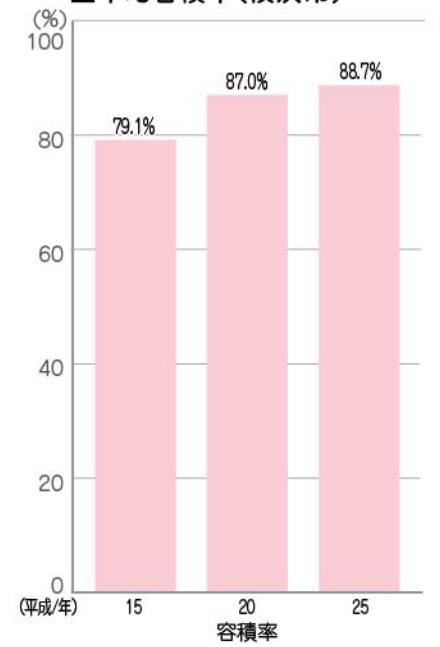
区別のグラフも平均容積率を示しています。

また、町丁目単位で区分した市域図では、各町丁目の平均容積率を7段階で示しています。ただし、各町丁目の面積に対する建築用地面積の割合が10%未満の町丁目については、除いて集計しています。

■平均容積率現況図



■平均容積率(横浜市)



$$\text{平均容積率(\%)} = \frac{\text{各町丁目の延床面積の合計}}{\text{各町丁目の建築用地面積の合計}} \times 100\%$$

*建築用地：住宅系土地利用、商業系土地利用、工業系土地利用、その他の建築用地(3-1「土地利用分類」参照)

■区別平均容積率

